

目 次

第1章 総 則

第1節 目 的	
§ 1 目 的	1-1
第2節 ガイドラインの適用範囲	
§ 2 ガイドラインの適用範囲	1-3
第3節 ガイドラインの構成	
§ 3 ガイドラインの構成	1-4
第4節 用語の定義	
§ 4 用語の定義	1-6

第2章 技術の概要と評価

第1節 技術の概要・特徴と運用方法	
§ 5 本技術の目的	2-1
§ 6 本技術の概要と特徴（システム全体）	2-6
§ 7 データ一元収集整理システムの概要と特徴（要素技術A）	2-16
§ 8 データ一元収集整理システムの維持管理における運用（要素技術A）	2-21
§ 9 リアルタイム評価可視化システムの概要と特徴（要素技術B）	2-28
§ 10 健全度評価における運用（要素技術A・B）	2-32
§ 11 ストマネ計画策定における運用（要素技術B）	2-34
§ 12 性能劣化シミュレーションの概要と特徴（要素技術C）	2-38
§ 13 性能予測シミュレーションの運用（要素技術C）	2-42
§ 14 システムの統合的・継続的な運用（P D C A）	2-45
§ 15 P D C Aサイクル実行におけるアウトプットとアウトカムの整理	2-50
第2節 技術の適用・推奨条件	
§ 16 技術の適用条件と推奨条件	2-53
§ 17 導入シナリオ	2-56
第3節 実証研究に基づく評価結果の概要	
§ 18 実証研究での評価項目	2-58
§ 19 実証研究での評価結果	2-60

第3章 導入検討

第1節 導入検討手法	
§ 20 導入検討手順	3-1
§ 21 本技術導入に向けた現状把握	3-2
§ 22 対象範囲の検討	3-4
§ 23 導入効果の検討	3-5
§ 24 導入判断	3-14
第2節 導入効果の検討例	
§ 25 検討条件	3-15
§ 26 導入効果の検討例	3-17

第4章 システムの構築

第1節 システム構築手順	
§ 27 システム構築フロー	4-1
第2節 利用体制・ハードウェア構成の検討	
§ 28 利用体制・ハードウェア構成の検討	4-2
第3節 システム構築に必要な情報の収集・整理	
§ 29 システム構築に必要な情報の収集・整理	4-7
第4節 システムの構築	
§ 30 データ一元収集整理システム<要素技術A>の構築	4-10
§ 31 設備台帳・リアルタイム評価可視化システム<要素技術B>の構築	4-16
§ 32 性能劣化シミュレーション<要素技術C>の構築	4-18

第5章 システムの維持管理

第1節 システムの保守	
§ 33 システムの保守・管理	5-1
第2節 データの保守	
§ 34 対象施設・設備変更時の対応	5-2
§ 35 性能劣化予測モデルの評価と見直し	5-4

資 料 編

1. 実証研究結果	
1.1 実証研究概要	1
1.2 実証研究結果	7
1.3 その他検証事項	32
1.4 ストマネ計画策定時の省力化効果	34
1.5 機器数と水量補正率の近似式の元データ	35
2. ストックマネジメント以外への活用方法	
2.1 ナレッジの共有・継承	41
2.2 広域化・共同化における活用	42
3. 問い合わせ先	47